

令和元年

目黒区教育委員会

第25回定例会会議録

(令和元年7月9日開催)

第25回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和元年7月9日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	後藤 幸子
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	笹尾 敦夫

出席職員	教育次長	秋丸 俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校ICT課長	今村 茂範
	学校運営課長	濱下 正樹
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	竹花 仁志
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	片山 順也
	生涯学習課長	千葉 富美子
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		森 高 健二郎

(議事日程)

日程第 1	協議事項	令和 2 年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について
日程第 2	報告事項	令和元年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成 30 年度分）報告書（素案）について
日程第 3	報告事項	英語 4 技能検定試験の実施について
日程第 4	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について
日程第 5	報告事項	学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について

資料配布

- ・夏の子ども電話相談

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和元年第25回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、櫻井委員です。
- ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
- なお、以後の傍聴の申請はその都度許可することとし、委員の皆さんにはお伝えすることはいたしません。
- それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和2年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について(協議事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 ただいま事務局より説明がありましたとおり、今回採択するのは、令和2年度から目黒区立小学校で使用する教科用図書でございます。各委員のところには、既に事務局から教科書の見本本、調査研究委員会報告書、学校調査報告書が届けられておりますので、一通りご覧になっていることと思います。本日は、この報告書などを参考に、実際に教科書を手にしながらか協議を進めてまいりたいと思います。
- 協議の進め方につきましては、ただいま事務局から説明のありましたとおり、本日から5回に分けて協議を進めてまいりたいと思っております。
- まず、本日7月9日の1回目から7月30日の3回目までは、各回4種目から5種目の教科書について協議し、発行者数の多い種目については、一定程度の絞り込みを行ってまいりたいと思います。
- なお、8月9日の4回目の協議では、全種目について協議し、ここでも一定の絞り込みを行い、8月20日の5回目の協議で、各種目の候補を1社に絞りたいたいと思っております。その上で、8

月 27 日には採択の議決を行う予定で進めたいと思います。

なお、議論の際に呼ぶ各教科書の発行者名につきましては、お手元の資料 2 の発行者一覧の表に記載のとおり、協議用記号で呼びたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、本日の協議に入ります。まず、国語について協議をいたします。

○委員 どの教科用図書も検定を通っているということで、新学習指導要領に対応したつくりになっていると思いながら、拝見しました。

どの教科用図書も、題材の前にその題材についてどのように学習をしていくのがいいのか、ポイントや目当てが明記されており、児童にとってはそこを意識しながら学習することができると思って見ておりました。

そして、題材の後につくられている学習の進め方についても、児童が学習しやすいように工夫がされていて、また、その題材に関連する本の推薦なども書かれていたり、考えを広げるための工夫もなされていました。また、発達段階に応じたつくりになっているようにも見受けられました。

その中で特に、H社とI社の教科書に関しては、学習の後半の進め方の柱が捉えよう、深めよう、確かめよう、考えようという論理的なもので組まれている点が、良かったと思いました。その進め方のヒントとなるものが下段にも書かれており、児童がそのヒントをもとに自発的に自ら学びに向かう可能性があるのではないかと感じられたので、私としては、H社とI社が良いと思っております。

○委員 私の選定に当たっての基本姿勢は、学校の先生方の評価と、調査研究委員会の評価のうち、特にプラスと評価されている部分を引き出すものです。それで、私自身で点数づけを行い、選んでまいりました。

特に、これまで課題とされていた語彙に関して、どのように改善し、その改善を先生方がどう受けとめられているのかについて、注目しました。そうしますと、語彙に関しては、4社それぞれに特徴があって、特に大きな差をつけられませんでした。

また、学習指導要領で重視されている自分の考えを形成するという点についても注目しましたが、これも4社それぞれ特徴があり、それぞれに優れたものであるため、大きな差をつけられませんでした。

学習指導要領では、情報の扱い方についての知識、技能を鍛えるのが国語であるとされています。この点について教科書での扱い方を見たところ、若干差が見られたため、私自身の順位づけとして、1番はI社、2番はG社、3番がH社、4番がF社という順位になりました。2社に絞るとすれば、I社とG社となります。

○委員

私は、構成の部分を見てみました。まず最初に、目次のところ、一番最初に学習するときには皆さん目次のところをきちんと見ると思いますが、その目次のところで、単元の目的が明確に示されているかどうか、1年間を通してどういうことをやるのか、そういうことが明確に書かれているかを注意して見てみました。

そうすると、F社の教科書は単元の目的が明確に示されていて分かりやすかったです。I社のものは、1年間でこういうことを学ぶということが、俯瞰した形で詳しく書かれていました。それから、I社のものは全学年での学びをきちんと確かめているところが良いと思いました。

そのほかにも、F社のものは、単元の導入部分に、言葉の力や、覚えているかなというものが書かれているので、どうしてこの文章を読むのかということについて、こういう視点でこれを読もうねということがきちんと書かれているので、入っていきやすいと思いました。同じくI社のものも、学習の進め方で、きちんと指針が出されているため、良いと思いました。

ということで、私はF社とI社が良いと思いました。

○委員

私は今回の新しい指導要領で、主体的・対話的で深い学び、これが大切だと思いました。深い学びというのは、創造力を養うということです。それから、知財創造教育が大切だと思います。子どもに対しての創造力をどうやって養っていくかについては世界中で課題とされており、それが今回の新しい指導要領で打ち上げられています。私も、子どもたちが自分で考えていくための教科書が、これからは必要なのではないかと思います。

ですから、深く考えてそれをさらに豊かにしていくような教科書、それからもう一つは、新しい指導要領なので、教師力による差が出ない教科書が良いと思います。

結果からいうと、私はI社とH社の教科書が良いと思います。最初に本を開いたときに、この教科書は何を教えたいのか、それから、個々の文章のところ、何をポイントとしてやっていくのか、振り返りですとか、児童の考える力を養っていく、そういう

ところのポイントで決めました。

ですから、私はI社とH社を選びました。

○教育長

ただいま4名の教育委員からのご意見を伺いました。

私が一番注目する新しい学習指導要領のポイントは、主体的に子どもたちが学べるかどうか、自ら進んで学ぼうとするような教科書になっているかどうかということです。

2番目は、対話的な学びについて、子どもたちのコミュニケーション能力が大きく問われているところでありますので、そういう対話的な学びについて、分かりやすい教科書となっているかどうかということです。

3番目は、教科書全体の内容かどうか、それから、構成はどうか、さらには表記、表現はどうか、そして、4番目として地域性というものについて見ております。

視点としては、子どもたちにとってわかりやすい教科書になっているかどうか、親しみやすい教科書になっているかどうか。一方、教える側の教員側にとって教えやすい教科書になっているかどうか、使いやすい教科書になっているかどうか。以上4つの観点と2つの視点をもとに、私はH社とI社が良いと考えております。

今回の協議では、上位2社ということで、H社が3名、I社が5名、F社とG社が1名ずつということになりますので、H社とI社を採択候補として選びたいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、8月9日の協議では、H社とI社を採択候補としてその中から絞り込みを行い、8月20日の協議で最終的に1社に絞り、その上で8月27日の教育委員会で議決を行いたいと考えております。

議事の都合により暫時休憩とします。

(午前9時57分休憩)

(午前9時58分再開)

○教育長

休憩前に引き続き会議を開きます。

次は、書写について協議をいたします。

○委員

先ほど述べましたように、私の選定の条件は、深く考えて創造していく力を養うことと、教師力による差が出ないことです。結論を述べますと、I社とF社です。

I社の教科書については考えよう、確かめよう、生かそうということが豊富に載っており、自分の考え方を養う構成となっていますし、ページに圧迫感が余りないです。

それから、F社の教科書についても、その考え方を生活にどうやって生かそうかということが載っていて、例えば原稿用紙に書くとか、フェルトペンですとか、様々な工夫がなされています。それから、ほかの教科書にはなかったのですが、1年生から3年生で学ぶ漢字440字のところに、読み方と画数の記載や、表紙に保護者へこの教科書の説明が載っています。

これらの理由から、I社とF社を選びました。

○委員

私も結論から述べますと、F社とI社を選びました。

F社の教科書は、版がちょっと変わっているところもありますが、スペースがあって見やすいと感じました。それから、私は国語もF社を選んだんですが、その国語の教科書で取り上げている物語の一節が、字を書く題材に取り上げられていて、関連性があるところも良いと思いました。

また、I社の教科書ですが、これも良くできていて、毛筆に重点を置いていることが強く感じられました。それから、書写ブックの振り返りというところも、6年間で学んできたことを振り返ることは、中学生の勉強につながるため、大きなポイントになると思いました。

以上の理由から、F社とI社が良いと思いました。

○委員

私も、国語の教科との関連づけを強く意識いたしました。国語の教科や他教科との関連づけが児童の自主的な学習で重要だと考えるからです。

そうしますと、国語と同様にI社の教科書が優れているという印象を持ちました。

2番目は、国語のときにG社としましたので、書写もG社としました。

○委員

私は、他の委員の方とは違ったポイントで見ておまして、書写は、単調な学習になる可能性があるので、一人で黙々と学びに向かうことが多い科目だと思います。やるべきことを押さえつつ、

バリエーションに富んだ内容のほうが良いというポイントで見たところ、F社の教科書は、低学年から1つの題材が終わるごとに、振り返って話そうという対話的な学びが組み込まれている点が良いと思いました。

また、どの教科書も、どこのポイントに気をつけながら書きましようという点は書かれています。I社の教科書は、毎時間ごとに大切なポイントが書かれていて、学習の途中や振り返りで目にとまるような工夫がなされているという構成面が優れていました。また、学習の進め方がわかりやすく記載されている点も良いと思いました。

H社、J社のものも大切なポイントについては書かれています。見やすい点、児童にとって分かりやすい点で、I社のものがより優れていると思います。

ただ、H社のものは、友だち同士で感想を述べ合うなど、対話的な学びの工夫もなされていたり、ノートのとり方とか、学習活動で活用できる工夫もなされていたので、私は現段階ではF社、I社、H社、この3社を推薦いたします。

○教育長

基本的な考え方は、先ほど国語で申し上げたとおりでございます。各社とも良くできているというのが率直な印象であります。そこで、若干の差異を探した結果、まず、F社の教科書については、書く側にとって、左右どちらでも書きやすいようになっているという印象を受けましたので、良いと思います。

また、I社の教科書につきましては、3年生以上で多くの文字を取り上げている点が良いと思います。

私もF社とI社ということでございます。

上位2社に絞らせていただきたいと思いますけれども、F社が4名、I社が5名ということで、F社とI社を採択候補として選びたいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、8月9日の協議では、F社とI社を採択候補としてその中から絞り込みを行い、8月20日の協議で最終的に1社に絞り、その上で8月27日の教育委員会で議決を行いたいと考えております。

議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時5分休憩)

(午前10時6分再開)

- 教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。
次は、生活について協議をいたします。
- 委員 生活が一番選ぶのが難しいと思いました。何回も見たのですが、7社とも似たような構成であるため、絞り込みが難しかったです。
まずI社の教科書は、外国人の写真を大きく掲載しており、これから多様性の時代を迎えるに当たって、子どもたちにも低学年のときから受け入れられるような写真が使われているというところが良いと思いました。それから、生活科の目標の6つの資質、能力をサイコロの6面で表して、各单元ごとにどこの面を、どこのポイントを勉強すればいいのかということが低学年にも提示されている点が良いと思いました。
次に、F社の教科書です。吹き出しが多いため、まだ言語活動が上手でない低学年の児童にも分かりやすいと思いました。
最後は、L社の教科書です。単元に学びのヒントとなる問いがあるのですが、同じ位置にあるため、子どもにとって探しやすい、学びに繋がりやすいと思いました。また、生活や学習の場面で使える知恵や技能の習得を説明している部分があったり、遊び心のあるつくりになっているところが良いと思いました。
ですので、I社、F社、L社、この3社を選びました。
- 委員 私も生活に関しましては、これだけ各社が出されているにも関わらず、内容に大きな差が見当たらないため、先ほどの委員と同じように苦労いたしました。私自身の選び方の基本姿勢は、先ほど申しましたように、新しい指導要領の方針に沿った形で何らかの評価がされているものに注目するというので、学校の先生方の評価と、調査研究委員会の評価を参考にさせていただきました。
そうして拝見していたところ、生活という分野の場合、先生方と児童とで、同じ教科書を読んでも受け取り方が異なるものが多いのではないかと思います、教科書に補助的な説明が必要ではないかという印象を受けました。
そこを基準に選びましたところ、I社とJ社とL社となりまし

た。

○委員 他の委員もおっしゃったように、7社あり、また低学年ということもあって、内容がよく似ています。そこで、子どもが見て何か興味をそそられる部分があるのかという視点で見ってみました。

そうすると、F社の教科書は実物大の生き物図鑑が綺麗で見やすかったです。それから、植物が種から成長していくのが、子どもたちにとっては興味が出て良いと思い、F社を選びました。

I社の教科書は、導入部分のところで、他の委員もおっしゃっておいりましたけれども、多国籍の人の写真がありまして、最初の1年生の導入部分ですので、世界を広げていくよう、興味が出るように配慮されているため、良いものだと思います。

L社の教科書は、上の巻末の図鑑がコンパクトで、児童にとってはおもしろいのではないかと思います。また、夏休みチャレンジのまとめというのも、コンパクトで良いと思いました。

ということで、F社、I社、L社としました。

○委員 私は、教師力に差が出ない教科書はどれなのかという視点で選定しました。そうしたところ、H社とF社とI社とG社が良いと思いました。ただ、この中で創造性を養うために、具体的に色々なことが書いてあると思ったのが、H社とF社とI社のものです。

さらに、私は生活の科目で一番の課題は何かと考えたところ、安全教育だと思い、安全教育に注目して見ていきました。そうすると、安全教育にはっきり触れているのは、H社とF社とI社のものなので、最終的にH社とF社とI社を選びました。

○教育長 最後、私でございますけれども、基本的な考え方は国語の科目で申し上げたとおりでございます。今回7社あって、選ぶのに大変苦慮したところでありましてけれども、その結果について申し上げます。

まず、F社の教科書については、紙の重さを配慮しているように思いました。それから、右上には約束というものを記していて、使いやすいと思いました。

それから、I社の教科書については、色々な工夫がなされていますが、特に特別な支援を要する児童への配慮というものをされているのが良いと思いました。

L社の教科書については、色々なところに工夫がありますけれども、夏休みチャレンジが良くまとめられていました。

よって、私はF社とI社とL社を選びました。

これで申しますと、F社が4名、H社が1名、I社が5名、J社が1名、L社が4名ということでございますので、本日の協議では、F社とI社とL社に絞り込みたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、8月9日の協議では、F社とI社とL社を採択候補としてその中から絞り込みを行い、8月20日の協議で1社に絞り、その上で8月27日の教育委員会で議決を行いたいと考えております。
議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時16分休憩)

(午前10時17分再開)

- 教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。
次は、図画工作について協議をいたします。
図画工作につきましては、2社ですので、各委員のご意見、ご感想などを伺った上で、絞り込むか絞り込まないか判断をしたいと思っております。
- 委員 私は、この2社については優劣がつかないと思いましたが、学習のまとめの中で、どちらがはっきりしていて、目立ちやすいかという視点で選びました。その結果、学習の目当てや、気をつけよう片づけようなど、そういうところが各題材ごとに見やすいのがG社の教科書でした。それから、振り返りについても、G社のほうがはっきりしているし、さらに道具の使い方というところを比べてみたときも、G社のほうが良いと思いましたが、ただ、表題ごとに使う道具というところについては、F社のほうが見やすかったのですが、総合的にG社を選びました。
- 委員 両教科書とも良くできているので、本当に優劣がないと思うのですが、私はG社を選びました。
例えば粘土など、そういうものをつくっていく過程が詳しく掲載されているため、見ている児童や生徒も分かりやすいということや、取り上げられている名作のセレクションがすごく良かった

ことや、最後の道具や材料の使い方というのが良くできていることが大きな理由です。

ただ、本当に優劣つけ難いものでしたので、あえて言えばということでG社を選びました。

○委員 両社の教科書とも、大差はありませんでした。優劣つけ難いということではありますが、先ほども申しました学校の先生方の調査研究、調査研究委員会での内容、これらを考慮しますと、総合的にG社が良いという結論になりました。

○委員 他の委員がおっしゃったとおり、構成が似ており、新学習指導要領に対応したつくりになっているため、甲乙つけ難いと思いながら、読み進めました。どちらも学習の目当てが單元ごとに記されているため、それにより見通しをもって学習することができる、また、目当てやその単元で使用する材料とか、用具の表記も良く似ていて、どちらもよくできていると思いました。ただ、他の委員がおっしゃったように、G社のほうが若干制作過程の説明がF社よりも多いです。より詳しく書かれているので、図画工作が得意でない児童にとって、サポートとなるものが多かったという点で、私もG社を選びました。

○教育長 各委員に共通しているところは、F社もG社も甲乙つけがたいということで、あえて苦渋の決断をしたと受けとめております。今回、G社が優位なご意見が多かったですが、ここは慎重を期して、本日の協議では、F社とG社を残しておいて、8月20日の協議で絞りたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、本日の協議につきましては、F社とG社を採択候補とし、8月20日の協議で1社に絞り、その上で8月27日の教育委員会で議決を行いたいと考えております。

議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時24分休憩)

(午前10時25分再開)

○教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次は、音楽について協議をいたします。

音楽につきましても、2社ですので、先ほどの図画工作での例を踏まえ、今日は絞り込みは行わずに、各委員のご意見、ご感想を聞いて、8月20日の協議で絞りたいと思います。

○委員

こちらも図画工作と同様に、構成が似ておりまして、良くできている教科書だと思いながら見ておりました。

両社とも単元の上に必ず目当てが書かれていて、それにより見通しをもって学習ができるようになっていきますし、振り返りのポイントもあって、良いつくりだと思います。

ただ、G社の教科書が1年間でどのようなことをするのかという地図を記載していきまして、1年間でどのような音楽を勉強していくのか目次以外で分かるということは、児童にとっては良いことだと思います、その部分を評価しました。

また、G社のものは、学習のポイントでキャラクターが出てきて、それが吹き出しで教えてくれるということは、図画工作と同様に、音楽が苦手な児童にとって、自発的に学びに向かうきっかけになるのではないかと評価しました。

○委員

私は、音楽を好きになる、又は嫌いにならないという観点から、どちらの教科書が優れているのか見比べてみました。そうすると、G社の教科書の中に音楽の曲の山を見つけ出すというものがありまして、その山がどういうものなのか、曲の山というものをどう解釈するのかについて、読むだけで曲の山というものについての興味が湧いてくる表現がありました。これは素晴らしいと思いきまして、感心いたしました。

その点から、私はG社が良いと思います。

○委員

両方とも本当に良くできています。構成も似ているし、取り上げている題材も同じというところがありますけれども、差異もありました。

例えば、5年生のオーケストラの響きを見ると、取り上げている曲も違いますし、それをどう題材として提示しているかというのも違うのですが、G社のものは楽譜もついていて、よく分析されていて、面白いと思いました。

そのため、私はG社が良いと思いました。ただ、両方とも良くできた教科書でした。

○委員

私も結論から申し上げますとG社です。各歌ごとに標題があつて、学習の目的がはっきりしています。ですから、先生も教えや

すいと思います。それから、曲から感じたこと、気づいたこと、音楽をつくってみましょうなど、考えさせる工夫が随所にされていると思いました。

それからもう一つは、和楽器、地域の音楽、祭りばやし、日本の古くからの歌や、外国の歌、クラシックなども載っており、幅広くピックアップされている点が評価できるため、G社を選びました。

○教育長 音楽についてはまだ時間もありますので、8月20日の協議で絞りたいと思います。

各委員におかれましては、教科書や報告書等の資料に再度目を通していただき、検討していただければと思います。

今日の協議はここまでとします。

議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時32分休憩)

(午前10時33分再開)

○教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。
次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 令和元年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成30年度分)報告書(素案)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 ただいま事務局から説明のありましたとおり、本日は素案ということで、38ページ、39ページの一番肝となる第三者からの点検・評価に関する学識経験者の意見がまだ空欄になっております。そここの評価がどうリンクするかということも見る必要がありますので、今日はお持ち帰りをいただいて、ご意見があれば後日お寄せいただければと思っておりますけれども、特段のご質疑があれば、お願いいたします。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第3を議題とします。

(日程第3 英語4技能検定試験の実施について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
- 委員 4技能検定を行うということで、生徒が自分の英語力を知るという点において良いことだと思います。ただ、これを本当に教員の皆さんが今後の学習に生かしていけるかというところが大きな課題になってくると思います。
- 私の子どもも受けましたけれども、子どもは自分が今どれくらいのスコアがあるということを知るだけで、これを見て何かすることはいたしていません。なので、学校側がこの結果を分析し、学年の英語技能がどういう状況にあるか把握し、改善すべき点があれば改善していただきたいのですが、学校側はこのデータを生かすことができますか。色々な検定があるため、各自で自分自身の能力向上を図ることは幾らでもできます。これをあえて、区立の中学2年生全員に受験させるということは、学校の英語の授業改善に生かしていくからこそだと思うので、その辺をどのように考えていらっしゃるか教えてください。
- また、4技能検定は、中学2年生に受けさせ、3年生になった時点でもう一度受けさせ、どれだけ自分の英語力が伸びたか知る機会とすることも必要だと私は思うのですが、その点についてはどのようにお考えでしょうか。
- 説明員 学校の先生がこの4技能検定の結果を英語の授業改善に役立てることが大事だと考えております。それぞれ個々の状況も把握できますので、個別指導の充実に充てることや、また、各クラスごとに技能の習熟の状況にばらつきがある場合は、クラスでどこを重点的に指導していったらいいのかを把握しながら、授業を改善することが大事だと思います。ですので、4技能検定の結果を用いて授業改善をする方法につきましても、先生方にお知らせして、活用できるようにしていきたいと考えてございます。
- もう一点、中学校3年生のときにも受験すべきであるというご意見ですけれども、おっしゃるように経年で比較し、自身の状況を把握することは効果的であると思いますが、現在のところは中学校2年生のみと考えていまして、中学校3年生でもう一度これを受験するかについては、各家庭に委ねております。なお、令和3年度から東京都の公立高校の入学試験にスピーキングテストが

導入されることに伴い、令和2年度に東京都で公立中学校3年生全員を対象としたプレテストが行われるということなので、来年度の生徒に限りますが、国際基準のCEFRなどを通じて、そのテストの結果を中学2年生のときの結果と比較することは可能になってくると考えてございます。

○委員　よくわかりました。ありがとうございます。CEFRというのは国際基準とおっしゃっていましたが、これはどういう基準なのでしょう。日本では英検が一番普及していると思いますが、CEFRは英検との比較も可能なのでしょうか。

○説明員　CEFRについての説明は、お配りした資料のGTECのご案内の6ページに記載がございます。また、CEFRは、英検との比較もできるようになっていますが、生徒に配付する検定結果には英検との比較に関する情報は記載されていないので、この点については教員から補足説明等が必要になってくると思います。

○委員　生徒の英語力を高めるため、今後は目黒区で4技能検定を受験させるということだと思うのですが、それに当たり、これまで取り組んできた英検についてはどうするのか混乱される方も多いのではないかと思います。なぜ英検ではなく4技能検定に切り替えるのか、その辺りの説明を保護者の方にする予定はあるのでしょうか。

○説明員　保護者の方向けの説明については、今のところ検討していない状況です。ただ、英検の場合ですと、検定の合格、不合格という形にしかならないのですが、4技能検定ですと、スコアで表示されるものなので、経年で比較できるというメリットがございます。このスコアで英語力を比較できるということについては、何らかの形で保護者の方にお伝えすることは大事だと思います。

○教育長　その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4　教育委員会名義の使用承認状況について(報告事項))

○説明員　(資料により説明)

○教育長　この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。

[資料配布
・夏の子ども電話相談]

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時59分閉会)